

学 校 名	多摩市立東寺方小学校
コーディネーター数	1人
ボランティア数	8人

□ 活動の概要

全学年において自然環境を活かした体験活動、人と豊かにふれあう活動を実施している。

1年生は動物と触れ合う体験、2年生は地域のスーパーなどの協力を得て町探検、3年生は地域の方から話を聞く学習。4・5・6年生は学校敷地内の田んぼ活動やひのきの森の整備活動、多摩川の生物観察やごみの学習などを、地域の団体や人材の協力を得て展開している。



(ひのきの森の整備活動)



(多摩川のごみの学習)



(多摩川の生物観察)

□ コーディネーターの役割

上記授業支援として必要な道具の調達や、ゲストティーチャー、地域人材や団体、ボランティア等との連絡調整を行っている。その他に社会科見学の手配やバスの手配など、時間的に教員には難しい細かな部分をコーディネーターが担当している。元教員という経験とネットワークを活かし、学習支援のための人材確保の働きかけなども行っている。

□ 活動上の工夫や配慮等

毎週木曜日定期的に学校を訪れ、コーディネートする活動について各学年の教員や管理職と打合せをする。打合せを元に見学先やボランティアなどとの調整を進め、授業ができるところまで準備する。授業当日は参加しないが、活動の様子は担当教員や指導していただいた地域の方から聞き取り、次回へのフィードバックに努めている。元教員という立場から、教員が身につけておいたほうが良い部分はアドバイス程度にとどめて教員自身にさせるなど、子供だけでなく若い教員の育成という視点も持って活動を行っている。

□ 活動の成果や感想 (実践を通じた児童・生徒、地域の活動者、学校等の声や反応など)

川や森で活動した子供達は、「いつまでも生き物がいるように川の環境を守りたい」「ひのきの森を守ったり楽しめる場であったりするために、自分達でできることをしていきたい」など、実体験により強い感動を味わうことができたようだ。指導した地域の人からは「子供と接する楽しさ、教える楽しさが増えてよかった」という声が寄せられている。学校からは「コーディネーターのおかげで折衝に時間がとられず、また前もって相談しておく、時期に合わせて段取りしてもらえて助かる」「コーディネートと実際の授業時に付く人が違うので、ずれが生じることがある」とコーディネーターに助けられながらも、打合せについては課題もあることがわかる。